

第五次国有林野施業実施計画書

(網走東部森林計画区)

計画期間 (自 平成27年4月 1日
至 平成32年3月31日)

策定年月日：平成28年3月28日

北海道森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの 伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	
	(1) 伐採造林計画簿	1
	(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
	(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
	(4) 伐採総量	2
	(5) 更新総量	4
	(6) 保育総量	4
3	林道の整備に関する事項	5
4	治山に関する事項	7
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	
	(1) 保護林の名称及び区域	9
	(2) 緑の回廊の名称及び区域	11
6	レクリエーションの森の名称及び区域	12
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	16
8	その他必要な事項	
	(1) 施業指標林、試験地等	17
	(2) フィールドの提供	20
	(3) 森林共同施業団地	20

- 1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域
国有林野施業実施計画図（別添1）による。
- 2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量
 - (1) 伐採造林計画簿
伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿（別添2）による。
 - (2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

（単位：h a）

区分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年	
			樹種	
単層林施業群	21,476	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ	トドマツ	65年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	80年
			カラマツ ・グイマツ	50年
			スギ	65年
			その他針葉樹	60年
長期単層林施業群	15,153	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	120年
			カラマツ ・グイマツ	80年
			スギ	100年
			その他針葉樹	90年
複層林施業群	11,595	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
			カラマツ ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			スギ	伐採始期 50年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混交林施業群	11,808	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	20年	
育成天然林施業群	68,333	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】		
天然生林施業群	28,047	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。 【施業方法：天然生林へ導くための施業】		
その他施業群	—	他の施業群の取扱いになじまないもの。取扱い内容は個別に定める。	個別に定める。	
合計	156,412			

注) 林地面積の集計である。
計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。（以下の表についても同じ）

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林	その他
上限伐採面積	1,770	759	2,010	2,952	17,035	7,012	—

(4) 伐採総量

(単位：m³、h a)

区 分	林			地		林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	14,640	(2,247) 163,261	177,901				
自然維持タイプ	—	(155) 14,735	14,735				
森林空間利用タイプ	2,791	(254) 17,662	20,453				
快適環境形成タイプ	—	—	—				
水源涵養 タイプ	単 層 林	(4,828) 219,823	360,735	580,558			
	長期単層林	(3,043) 22,039	223,167	245,206			
	複 層 林	(2,674) 30,136	200,914	231,050			
	混 交 林	(1,937) 18,231	139,525	157,756			
	育成天然林	(9) —	463	463			
	天 然 生 林	(1) —	36	36			
	そ の 他	—	—	—			
	計	(12,491) 290,229	924,840	1,215,069			
合 計	(15,147) 307,660	1,120,498	1,428,158	160,000	1,588,158	—	1,588,158
年 平 均	(3,029) 61,532	224,100	285,632	32,000	317,632	—	317,632

注) 上段 () は、間伐面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位: m³、ha)

市町村名	林			地		林地以外	合計
	主伐	間伐	小計	臨時伐採量	計		
北見市	59,607	(4,254) 302,831	362,438				
網走市	15,943	(584) 46,697	62,640				
美幌町	25,134	(1,087) 79,546	104,680				
津別町	95,494	(2,294) 157,217	252,711				
斜里町	8,260	(576) 49,910	58,170				
清里町	16,350	(1,542) 118,660	135,010				
小清水町	8,551	(624) 53,913	62,464				
置戸町	30,596	(2,464) 164,598	195,194				
佐呂間町	42,085	(1,402) 126,885	168,970				
大空町	5,640	(321) 20,241	25,881				
合計	307,660	(15,147) 1,120,498	1,428,158				

注1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注2) 上段()の数値は間伐面積(ha)を表し、合計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工 造林	単層林造成	-	-	2	-	719	721
	複層林造成	86	-	-	-	175	260
	計	86	-	2	-	894	982
天然 更新	天然下種第1類	-	-	-	-	-	-
	天然下種第2類	17	-	26	-	206	249
	ぼう芽更新	-	-	-	-	-	-
	計	17	-	26	-	206	249
合 計		102	-	28	-	1,100	1,231

(6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下刈	349	-	21	-	6,434	6,804
	つる切り	46	-	35	-	489	569
	除伐	273	-	207	-	2,936	3,417

3 林道の整備に関する事項

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数 (改良)	備考
網走中部森林管理署						
基幹	開設	大和	1020, 1025	3,230		北見市
		大金穂	2075, 2076	2,750		北見市
	計	2路線		5,980		
その他	開設	カクレ沢	1044	3,900		北見市
		湯の沢支線	1041	3,170		北見市
		二の沢	1038, 1039, 1040	4,360		北見市
		松山左	1091, 1092, 1093	2,403		北見市
		牛山	1031, 1032	3,500		北見市
		ワツウンベケレ	2072, 2073	2,800		北見市
		瑞穂	2070	3,520		北見市
		幸の沢	2256	1,480		北見市
		美里	2241, 2242	3,000		北見市
		毛当別	2239, 2240	2,000		北見市
		いこいの沢	2217, 2223	4,240		北見市
		タウシナイ	2285, 2287	3,400		北見市
		小仁頃	2225, 2229	1,980		北見市
		吉野1の沢	2218, 2220	4,750		北見市
		毛主山	2201, 2291	3,270		北見市
		豊川	2201, 2202	2,500		北見市
		川沿	2262	4,240		北見市
		訓子府川支流	130, 131	2,800		置戸町
		釧北林道鉄橋の沢支線	85, 87	2,660		置戸町
		オンネアンジ林道14林班線	14	1,600		置戸町
		落の沢	2016	2,800		佐呂間町
		富武士左線	2095	4,200		佐呂間町
		仁倉オンネナイ	2001, 2002	4,590		佐呂間町
		尚和2の沢	2082, 2085	3,691		佐呂間町
		仁倉1の沢	2011, 2015	2,000		佐呂間町
		山添の沢	2004, 2005	1,590		佐呂間町
		右大敬	2055, 2056	3,000		佐呂間町
		左大敬	2053, 2054	3,450		佐呂間町
		銅山の沢	2021, 2022	2,800		佐呂間町
		栃木支線	2029	1,100		佐呂間町
		共立右の沢支線	2063	4,660		佐呂間町
計	31路線		95,454			
基幹	改良	富士見三線	1077	100	2	北見市、溝渠工
		北見富士	1047	50	1	北見市、溝渠工
		大久保の沢	1001	50	1	北見市、溝渠工
		小松沢	1016	50	1	北見市、溝渠工
		北陽	2226	50	1	北見市、溝渠工
		幌内	2267	50	1	北見市、溝渠工
		小屋の沢	58	100	2	置戸町、溝渠工
		平の沢	72	50	1	置戸町、溝渠工
		オンネアンジ	14	50	1	置戸町、溝渠工
		幌岩	2090	50	1	佐呂間町、溝渠工
		共立右の沢	2064	50	1	佐呂間町、溝渠工
		計	11路線		650	13
その他	改良	向陽	2233	40	1	北見市、擁壁工
		日吉林道1の沢線	2282	50	1	北見市、溝渠工
	計	2路線		90	2	

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数 (改良)	備考
網走中部森林管理署合計						
開設	基幹	2路線		5,980		
	その他	31路線		95,454		
	計	33路線		101,434		
改良	基幹	11路線		650	13	
	その他	2路線		90	2	
	計	13路線		740	15	
網走南部森林管理署						
基幹	開設	オペケブ支線	1002, 1003	3,000		斜里町
		オニセツプ	1230, 1301	2,100		清里町
		志乃支線	331, 332	4,500		小清水町
		計	3路線	9,600		
その他	開設	能取支線	107, 108	4,100		網走市
		福住第2	10, 11	4,800		美幌町
		新宮3号	45	1,000		美幌町
		上里24号	2023, 2024, 2025	3,100		津別町
		小沼沢美特分線	2003, 2004	3,200		津別町
		里美越支線	2078, 2079	2,800		津別町
		オンネナイ支線	2002, 2003	2,400		津別町
		イウタニ2の沢	2238, 2239	4,300		津別町
		ポン支線	1003, 1004	3,400		清里町
		オニセツプ支線	1009, 1010	4,600		清里町
		末広の沢	1088	2,300		清里町
		末広の沢支線	1088	1,500		清里町
		ノブ支線	1039, 1046, 1052	5,800		清里町
		ハトイ札弦川	1017, 1025	800		清里町
		江南	1094, 1095, 1097	3,900		清里町
		坂砥支線	328, 329	4,100		小清水町
		藻琴支線	258, 259	3,100		大空町
		計	17路線	55,200		
基幹	改良	オンネナイ	2002	50	1	津別町、溝渠工
		日の出	1223	100	1	斜里町、溝渠工
		計	2路線	150	2	
その他	改良	里美越	2075	100	1	津別町、溝渠工
		ハトイ札弦川	1017	500	1	清里町、溝渠工
		計	2路線	600	2	
網走南部森林管理署合計						
開設	基幹	3路線		9,600		
	その他	17路線		55,200		
	計	20路線		64,800		
改良	基幹	2路線		150	2	
	その他	2路線		600	2	
	計	4路線		750	4	
森林計画区合計						
開設	基幹	5路線		15,580		
	その他	48路線		150,654		
	計	53路線		166,234		
改良	基幹	13路線		800	15	
	その他	4路線		690	4	
	計	17路線		1,490	19	

注) 災害復旧等緊急を要する改良については、指定箇所以外においても実行ができるものとする。

4 治山に関する事項

位置	区分	工種	計画量	備考
網走中部森林管理署				
1084林班	保全施設	溪間工	2箇所	北見市
1117～1118林班	保全施設	溪間工	2箇所	北見市
2207林班	保全施設	溪間工	1箇所	北見市
2224林班	保全施設	溪間工	3箇所	北見市
2262～2263林班	保全施設	溪間工	8箇所	北見市
2265～2266林班	保全施設	溪間工	4箇所	北見市
2270林班	保全施設	溪間工	3箇所	北見市
121～122, 124林班	保全施設	溪間工	1箇所	置戸町
2009, 2013林班	保全施設	溪間工	2箇所	佐呂間町
1075, 1077林班	保全施設	山腹工	2箇所	北見市
2206林班	保全施設	山腹工	1箇所	北見市
2097林班	保安林の整備	植栽工	1 ha	佐呂間町
2100林班	保安林の整備	植栽工	1 ha	佐呂間町
網走中部森林管理署計	保全施設	溪間工	26箇所	
		山腹工	3箇所	
		護岸工	-箇所	
		計	29箇所	
	保安林の整備	植栽工	2 ha	
		本数調整伐 計	- ha 2 ha	
網走南部森林管理署				
2155～2158林班	保全施設	溪間工	4箇所	津別町
2168林班	保全施設	溪間工	1箇所	津別町
1212, 1213林班	保全施設	溪間工	5箇所	斜里町
1222林班	保全施設	溪間工	1箇所	斜里町
1226林班	保全施設	溪間工	1箇所	斜里町
1229林班	保全施設	溪間工	3箇所	斜里町
1331, 1332林班	保全施設	溪間工	2箇所	斜里町
1377林班	保全施設	溪間工	1箇所	斜里町
1380, 1381林班	保全施設	溪間工	2箇所	斜里町
1006～1012, 1038～1047, 1054～1083林班	保全施設	溪間工	6箇所	清里町
1055林班	保全施設	溪間工	1箇所	清里町
112林班	保全施設	山腹工	1箇所	網走市
1344, 1380林班	保全施設	山腹工	1箇所	斜里町
1376・1377林班	保全施設	山腹工	2箇所	斜里町
1380林班	保全施設	山腹工	4箇所	斜里町
52林班	保安林の整備	植栽工	6 ha	美幌町
2011林班	保安林の整備	植栽工	11 ha	津別町
2014林班	保安林の整備	植栽工	52 ha	津別町
2018林班	保安林の整備	植栽工	4 ha	津別町
2066林班	保安林の整備	植栽工	14 ha	津別町
2194林班	保安林の整備	植栽工	4 ha	津別町
2195林班	保安林の整備	植栽工	3 ha	津別町
1118林班	保安林の整備	植栽工	36 ha	斜里町
1108林班	保安林の整備	植栽工	7 ha	清里町
355～356林班	保安林の整備	植栽工	32 ha	小清水町
5林班	保安林の整備	植栽工	11 ha	大空町
9林班	保安林の整備	植栽工	10 ha	大空町
10林班	保安林の整備	植栽工	48 ha	大空町
11林班	保安林の整備	植栽工	20 ha	大空町
14林班	保安林の整備	植栽工	18 ha	大空町
16林班	保安林の整備	植栽工	9 ha	大空町
256林班	保安林の整備	植栽工	21 ha	大空町
257林班	保安林の整備	植栽工	6 ha	大空町

位 置	区 分	工 種	計 画 量	備 考
2131林班	保安林の整備	本数調整伐	18 ha	津別町
1119林班	保安林の整備	本数調整伐	1 ha	斜里町
1141～1143林班	保安林の整備	本数調整伐	14 ha	斜里町
355～360林班	保安林の整備	本数調整伐	10 ha	小清水町
266林班	保安林の整備	本数調整伐	8 ha	大空町
網走南部森林管理署計	保全施設	溪間工	27 箇所	
		山腹工	8 箇所	
		護岸工	- 箇所	
		計	35 箇所	
	保安林の整備	植栽工	312 ha	
		本数調整伐	51 ha	
計		363 ha		
森林計画区合計	保全施設	溪間工	53 箇所	
		山腹工	11 箇所	
		護岸工	- 箇所	
		計	64 箇所	
	保安林の整備	植栽工	314 ha	
		本数調整伐	51 ha	
		計	365 ha	

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域
 (1) 保護林の名称及び区域

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
森林生態系保護地域	網走南部森林管理署				
	知床森林生態系保護地域 (保存地区) (保全利用地区)	既設	23,264.97 17,936.13 5,328.84	別表参照	海岸線から高山に至る変化に富んだ植物相、大小の山岳湖沼に見られる湿性植物群落、希少種を含めた多様な種類の鳥類・ほ乳類等からなる生態系を有する。これらに係る原生的な天然林を保存することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保存を図る。
	計		23,264.97		
	森林計画区計 (保存地区) (保全利用地区)	1箇所	23,264.97 17,936.13 5,328.84		
	林木遺伝資源保存林	網走中部森林管理署			
北見トドマツ4 林木遺伝資源保存林		既設	39.79	別表参照	トドマツの遺伝資源の保存。
北見オオバボダイジュ、カツラ、シウリザクラ6 林木遺伝資源保存林		既設	11.33	別表参照	オオバボダイジュ、カツラ、シウリザクラの遺伝資源の保存。
北見ダケカンバ、オヒョウ、シナノキ7 林木遺伝資源保存林		既設	57.53	別表参照	ダケカンバ、オヒョウ、シナノキの遺伝資源の保存。
北見チョウセンカラマツ8 林木遺伝資源保存林		既設	2.59	別表参照	チョウセンカラマツの遺伝資源の保存。
北見イタヤカエデ、ハウチワカエデ、アズキナシ9 林木遺伝資源保存林		既設	12.35	別表参照	イタヤカエデ、ハウチワカエデ、アズキナシ(カラスギ)の遺伝資源の保存。
北見ケヤマハンノキ11 林木遺伝資源保存林		既設	4.84	別表参照	ケヤマハンノキの遺伝資源の保存。
北見シラカバ、ハリギリ、チョウセンヤマナラシ13 林木遺伝資源保存林		既設	8.53	別表参照	シラカバ、ハリギリ(センノキ)、チョウセンヤマナラシの遺伝資源の保存。
北見ホオノキ、アサダ14 林木遺伝資源保存林		既設	7.36	別表参照	ホオノキ、アサダの遺伝資源の保存。
北見エゾマツ16 林木遺伝資源保存林		既設	6.22	別表参照	エゾマツの遺伝資源の保存。
北見モンゴリナラ17 林木遺伝資源保存林		既設	18.25	別表参照	モンゴリナラの遺伝資源の保存。
北見ミズナラ27 林木遺伝資源保存林		既設	10.86	別表参照	ミズナラの遺伝資源の保存。
網走南部森林管理署					
北見ダケカンバ18 林木遺伝資源保存林		既設	6.00	別表参照	ダケカンバの遺伝資源の保存。
北見ミズナラ19 林木遺伝資源保存林		既設	5.20	別表参照	ミズナラの遺伝資源の保存。
北見キハダ20 林木遺伝資源保存林		既設	5.50	別表参照	キハダの遺伝資源の保存。
北見エゾマツ、トドマツ21 林木遺伝資源保存林		既設	10.79	別表参照	エゾマツ、トドマツの遺伝資源の保存。
北見イチイ22 林木遺伝資源保存林		既設	7.65	別表参照	イチイの遺伝資源の保存。
北見ハルニレ23 林木遺伝資源保存林		既設	11.22	別表参照	ハルニレの遺伝資源の保存。
北見ハンノキ、ヤチダモ24 林木遺伝資源保存林		既設	8.74	別表参照	ハンノキ、ヤチダモの遺伝資源の保存。

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
林木遺伝資源 保存林	北見アカエゾマツ25 林木遺伝資源保存林	既設	40.69	別表 参照	アカエゾマツの遺伝資源の保存。
	北見ミズナラ28 林木遺伝資源保存林	既設	2.41	別表 参照	ミズナラの遺伝資源の保存。
	北見ヤチダモ29 林木遺伝資源保存林	既設	2.35	別表 参照	ヤチダモの遺伝資源の保存。
	森林計画区計	21箇所	280.20		
	網走中部森林管理署				
植物群落保護林	置戸アカエゾマツ天然林 植物群落保護林	既設	13.13	別表 参照	山火事跡地に天然更新により成林したアカエゾマツ一斉林の保護。
	網走南部森林管理署				
	藻琴山ミズナラ天然林 植物群落保護林	既設	7.10	別表 参照	山火事跡地に発生したミズナラの原生林の林相を呈する森林の保護。
	女満別湿生 植物群落保護林	既設	29.45	別表 参照	ミズバショウを主体とする湿性植物の保護。
	木禽岳アカエゾマツ 植物群落保護林	既設	108.59	別表 参照	遷移過程にあるアカエゾマツ林の保全。
	海別岳植物群落保護林	既設	1,613.94	別表 参照	ハイマツ群落をはじめとする高山性の植生の保護。 緑の回廊の拠点となる。
	斜里岳植物群落保護林	既設	1,537.24	別表 参照	ダケカンバ、チシマザサ群落、ハイマツ群落等の植生の保護。 緑の回廊の拠点となる。
森林計画区計	6箇所	3,309.45			
特定動物生息地 保護林	網走南部森林管理署				
	シマフクロウ生息地 保護林	既設	1,661.50	非公開	シマフクロウの繁殖地、生息地等の保護。
	浜小清水 特定動物生息地保護林	既設	57.28	別表 参照	主として渡り鳥、留鳥及びキタキツネ等の繁殖地、生息地の保護。
	美咲地区 特定動物生息地保護林	既設	41.09	別表 参照	エゾシマリスの成育、繁殖の保護。
	森林計画区計	3箇所	1,759.87		
特定保護地理等	網走南部森林管理署				
	オジュンコシュン 粗粒玄武岩柱状節理 特定地理等保護林	既設	0.99	別表 参照	特異な地形地質(崖状の粗粒玄武岩柱状節理)の保護。
森林計画区計	1箇所	0.99			
郷土の森	網走南部森林管理署				
	野鳥虹の森	既設	16.82	別表 参照	清里町からの要請に応じて設定。 市街地近くに残された数少ない天然林として、恵まれた自然を保護し、景観の維持に努め、地域住民の森林に対する生涯学習の森として活用。
森林計画区計	1箇所	16.82			
森林計画区合計	31箇所	28,632.30			

(2) 緑の回廊の名称及び区域

種類	名称	新設・ 既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
緑の 回廊	網走南部森林管理署				
	知床半島緑の回廊	既設	5,476.87 (36km)	別表 参照	海岸部から高山帯に至る変化に富んだ森林に多くの動物が生息する「知床森林生態系保護地域」と、山頂部を中心とした地域にハイマツや豊富な高山植生が分布する「斜里岳、海別岳植物群落保護林」を結ぶ回廊であり、主としてハイマツ、高山植生からなる。貴重な野生生物等の広域化や相互交流により、効果的な森林生態系の保全を図る。
	森林計画区計	1箇所	5,476.87		
	森林計画区合計	1箇所	5,476.87		

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考	
自然休養林	網走中部森林管理署									
	サロマ湖畔 自然休養林	既設	1,116.03	別表参照	オホーツク海沿岸に所在し、サロマ湖を囲む湧別、佐呂間、常呂の三地域にまたがっている。ほとんどが網走国定公園に指定されており、森林美と湖水の調和する優れた観光地である。	複天	車道外 (佐呂間町)	休憩舎	「*」は、保健機能森林に該当する森林	
	(森林スポーツゾーン)	0.13								
	* (森林スポーツゾーン)	235.07								
	(風景ゾーン)	412.87								
	(風致探勝ゾーン)	2.82								
	* (風致探勝ゾーン)	465.14								
	網走南部森林管理署									
	網走 自然休養林	既設	1,369.85	別表参照	全域が網走国定公園に指定され、能取岬のお花畑と冬季の流水等自然景観に恵まれ、自然探勝、キャンプ、海水浴等のレクリエーションに適している。	複天 主伐 27.76 ha 間伐 172.43 ha		車道外	「*」は、保健機能森林に該当する森林	
	(森林スポーツゾーン)	221.65								
(風景ゾーン)	1,148.20									
藻琴山 自然休養林	既設	861.46	別表参照	大部分が阿寒国立公園に指定され、夏の深緑、秋の紅葉等の自然探勝、登山、キャンプ、スキー等四季を通じたレクリエーション活動に適している。	複天	駐車場外 (大空町及び小清水町)	休憩舎外	「*」は、保健機能森林に該当する森林		
(森林スポーツゾーン)	148.53									
(風景ゾーン)	712.93									
森林計画区計		3箇所	3,347.34							
自然観察教育林	網走中部森林管理署									
	滝の湯 自然観察 教育林	既設	117.36	別表参照	遊歩道の沿線は混交林で、豊富な森林資源や樹海に生息する野生生物等の自然観察を楽しむことができる。	複天	遊歩道外 (北見市)	車道外	「*」は、保健機能森林に該当する森林	
	(自然観察教育林)	1.39								
	* (自然観察教育林)	115.97								
	巨樹の森 自然観察 教育林	既設	118.74	別表参照	温根湯市街から南西約6kmの地点に位置し、トドマツ、エゾマツ等の針葉樹大径材を主体とした森林である。森林の役割や森林施業についての認識を高めるのに適した場所である。	複天		歩道 延長 3735m	「*」は、保健機能森林に該当する森林	
(自然観察教育林)	2.00									
* (自然観察教育林)	116.74									
網走南部森林管理署										
木禽岳 自然観察 教育林	既設	1,186.21	別表参照	全域が阿寒国立公園に指定され、山頂台地はほとんど針葉樹林で頂上付近には高山性の植生群落があり、自然観察、ハイキング等に適している。	複天 間伐 2.10 ha		車道外	保健機能森林に該当する森林		

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考	
自然観察教育林	知床自然観察教育林	既設	376.15	別表参照	原生的な天然林、豊富な下層植生、野生動物、溪谷等知床半島の自然が凝縮された森林を堪能することができる。	天			保健機能森林に該当する森林	
	森林計画区計	4箇所	1,798.46							
野外スポーツ林	網走南部森林管理署									
	みどり森林スポーツ林	既設	5.44	別表参照	地域の人々の融和と健全な体育向上を図る、冬期間のスポーツ振興の場である。	複	簡易リフト (清里町)			
	知床森林スポーツ林	既設	13.70	別表参照	眼下にオホーツク海に沈む美しい夕陽を臨むことができる、静かな林間のキャンプ場である。	天	給水施設 (地方公共団体)	トイレ外		
	宇登呂森林スポーツ林	既設	6.00	別表参照	地域の人々の融和と健全な体育向上を図る、冬期間のスポーツ振興の場である。	複	ロープトロー (斜里町)			
	森林計画区計	3箇所	25.14							
風景林	網走中部森林管理署									
	石北峠風景林	既設	572.89	別表参照	標高1,050mの石北峠は北見市と上川町の境に位置し、国道39号線が通過している。この峠からの眺望は眼下に原生的な樹海が広がっており、雄大な景観である。	複天	園地外 (北見市)	案内板		
	武華岳風景林	既設	302.92	別表参照	広大なハイマツ樹海、キバナシャクナゲ等数多くの高山植物が登山者を楽しませる。	天		歩道延長 6270m		
	三角山風景林	既設	90.93	別表参照	北見富士 (通称三角山) といい、標高1,291mの円錐形の山で均衡がとれた山容は美しい。	天		歩道延長 2560m		
	鹿の子沢風景林	既設	291.32	別表参照	春の新緑、秋の紅葉など四季を通じた自然美や巨樹「三本桂」、三つの滝や奇岩などと森林の景観が美しい。	複天	車道外 (置戸町)	案内板		
	仁頃山風景林	既設	135.54	別表参照	標高829mの仁頃山は山頂からオホーツク海、サロマ湖、知床連山、雄阿寒岳、大雪山連峰が遠望でき、北見市街地に近く、登山、自然散策等に最適である。	複天	車道 (網走開建)	園地外		

種類	名 称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考	
風景林	網走南部森林管理署									
	津別峠風景林	既設	265.60	別表参照	網走と釧路を分ける峠の一つであり、眼下に国内最大のカルデラ湖である屈斜路湖や湖面に突き出る和琴半島を望み、雌阿寒岳、雄阿寒岳などの山々を眺望できる。	複天	遊歩道外 (地方公共団体)	案内板		
	釧北峠風景林	既設	238.15	別表参照	阿寒国立公園の入口である釧北峠に至る国道240号線沿線の風景を楽しむことができる。	複天 間伐 1.44 ha	展望駐車場 (網走開建)	車道外		
	美幌峠風景林	既設	139.86	別表参照	阿寒国立公園内に指定され、眼下に国内最大のカルデラ湖である屈斜路湖や湖面に突き出る和琴半島を臨み、阿寒の山々や遙か摩周岳、大雪連峰、知床連峰、オホーツク海を眺望できる。	複天	駐車場 (美幌町) レストハウス (民間)	案内板		
	小清水峠風景林	既設	104.57	別表参照	全域が阿寒国立公園に指定され、クマイザサとハイマツの中に生育するダケカンバ林の独特な風景と眼下に国内最大のカルデラ湖である屈斜路湖が広がり、遙か知床連山を眺望できる。	複天				
	野上峠風景林	既設	174.14	別表参照	野上峠に至る国道391号線の沿線の景色が楽しめる。	複天 主伐 5.30 ha 間伐 5.15 ha				
	原生花園風景林	既設	624.65	別表参照	全域が網走国定公園に指定され、オホーツク海沿岸にハマナス等の海岸植物が160種以上成育し、一帯からは知床連山が眺望できる。	複天 間伐 3.60 ha	駐車場 (網走開建) 園地外 (北海道) 売店 (小清水町及び民間)			
	裏摩周風景林	既設	460.32	別表参照	摩周湖は世界一級の透明度を誇るカルデラ湖で、神秘の湖として全国に知られている。外輪山には四季折々に彩る広葉樹林が広がり、湖面の「摩周湖ブルー」に良く映える。	複天	園地外 (地方公共団体)			

種類	名 称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
風景林	男鹿の滝風景林	既設	24.62	別表参照	天然林に囲まれた岩壁に突如湧出する落差20数mの瀑布が、迫力と清涼感にあふれる景観を形成している。	複	園地外 (地方公共団体)		
	江鳶山風景林	既設	355.17	別表参照	春から秋にかけて亜寒帯山岳独特の森林美観を呈し、頂上からオホーツク海、斜網原野、川湯硫黄山、雄阿寒岳等の山々を眺望できる。	複天	園地外 (地方公共団体)	歩道延長2500m	
	オシンコシン岬風景林	既設	51.67	別表参照	オホーツク海に面した知床世界自然遺産の玄関口に位置し、知床国立公園に通じる国道334号線沿いのオシンコシン岬を中核とする一帯で、チャラセナイ川から二筋になって流れ落ちるオシンコシンの滝は日本の滝百選に選出される名瀑であり、西側のオホーツク海、オシンコシン岬の針広混交林等の自然景観に恵まれた地域である。	天	園地外 (斜里町) 売店 (民間)		
	神の子池風景林	既設	8.80	別表参照	摩周湖外輪山からの伏流水が豊富に湧き出す泉で、透明度が高くエメラルドブルーに輝く水面が神秘で美しい。	天	駐車場外 (清里町)		
	森林計画区計	16箇所	3,841.15						

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考	
風致探勝林	網走中部部森林管理署									
	おけと湖 風致探勝林 (風致探勝ゾーン) *(風致探勝ゾーン)	既設	1,067.03 19.18 1,047.85	別表 参照	広大な緑の山峡の青い湖と、湖面周辺の眺望の良い森林美や大規模な多目的ダムを擁し、キャンプ場や温泉施設もある。	複 天	東屋外 (置戸町)		「*」 は、保 健機能 森林に 該当す る森林	
	網走南部森林管理署									
	つべつ 風致探勝林 (風致探勝ゾーン) *(風致探勝ゾーン)	既設	372.18 2.18 370.00	別表 参照	津別町は「愛林の町つべつ」を宣言し、愛林思想の高揚を図り、森林を活用するレクリエーション事業を地域振興の主要産業と位置づけている。	複 天 間伐 69.10 ha	休養施設 (地方公共 団体)	案内板	「*」 は、保 健機能 森林に 該当す る森林	
森林計画区計	2箇所	1,439.21								
森林計画区合計	28箇所	10,451.30								

注1) 備考欄の「保健機能森林に該当する森林」とは、「森林の保健機能の増進に関する特別措置法」に基づき、施設の整備を森林の施業と一体的かつ計画的に推進する森林のことを指す。

注2) 施業方法 単＝育成単層林へ導くための施業 複＝育成複層林へ導くための施業
天＝天然生林へ導くための施業

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名 称	設定年	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	備 考
遺 伝 子 保 存 林	網走中部森林管理署				
	トドマツ幌岩遺伝子保存林	昭和46年	4.00	2009 た	林木育種事業を計画的、能率的に実施するため現存する林木の優良遺伝子群を確保し、これを保存し、遺伝子補給源として活用する。
	アカエゾマツ春日A 遺伝子保存林	昭和50年	8.34	14 ね	
	アカエゾマツ春日B 遺伝子保存林	昭和50年	4.24	14 れ	
	クロエゾマツ置戸遺伝子保存林	昭和49年	0.25	125 わ	
			0.99	125 れ	
	計		1.24		
	ウダイカンバ勝山A 遺伝子保存林	昭和51年	0.21	86 ほ	
	ウダイカンバ勝山B 遺伝子保存林	昭和51年	7.81	87 は	
	ウダイカンバ勝山C 遺伝子保存林	昭和51年	0.85	88 は	
	ケヤマハンノキ置戸 遺伝子保存林	昭和50年	1.32	6 と	
			1.73	6 り	
			2.23	6 る	
	計		5.28		
存 林	網走南部森林管理署				
	トドマツ相生遺伝子保存林	昭和47年	4.44	2079 と	林木育種事業を計画的、能率的に実施するため現存する林木の優良遺伝子群を確保し、これを保存し、遺伝子補給源として活用する。
	トドマツ札弦遺伝子保存林	昭和45年	4.00	1089 む	
	アカエゾマツ清里A 遺伝子保存林	昭和50年	3.55	1003 り	
	アカエゾマツ清里B 遺伝子保存林	昭和50年	3.50	1082 り	
	ダケカンバ津別遺伝子保存林	昭和51年	8.87	2084 へ	
	森 林 計 画 区 計	13箇所	56.33		
精 英 樹 保 護 林	網走南部森林管理署				
	ミズナラ網走210、211号	昭和49年	0.25	270 よ	精英樹を次代検定が完了するまで保存するため、精英樹を選定した林分を保存する。
	ミズナラ網走203号	昭和49年	0.52	270 た	
	ミズナラ網走204、205、208、 209、212号	昭和49年	1.15	270 れ	
	ミズナラ網走201、202、213号	昭和49年	2.39	270 そ	
森 林 計 画 区 計	4箇所	4.31			
検 定 林	網走中部森林管理署				
	北見3号地域差検定林	昭和63年	5.36	2031 ね	精英樹選抜育種事業実施要領に基づき、一群の精英樹系統種苗が揃って良好な成長を示す地域(適応範囲)を判定し、種苗の配布区域を定める目的で設定された検定林。
	北適応見1号試植検定林	昭和49年	1.73	2002 て	外国からの導入樹種や古くからの古来品種の林分特性、または、立地適応等の検定などを目的として設定された検定林。
	北異郷土見1号試植検定林	昭和37年	2.02	2232 り	
	北異郷土見2号試植検定林	昭和38年	2.53	2226 た	
	北異郷土見3号試植検定林	昭和39年	6.54	2226 れ	
	北異郷土見4号試植検定林	昭和40年	5.04	2226 こ	
	北異郷土見6号試植検定林	昭和41年	10.08	2226 に	
	北異郷土見8号試植検定林	昭和42年	4.62	2226 き	
	網走南部森林管理署				
北見2号地域差検定林	昭和62年	5.42	41 あ	精英樹選抜育種事業実施要領に基づき、一群の精英樹系統種苗が揃って良好な成長を示す地域(適応範囲)を判定し、種苗の配付区域を定める目的で設定された検定林。	
北見6号地域差検定林	平成4年	2.16	29 よ		

種類	名 称	設定年	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	備 考	
検 定 林	北適応見6号試植検定林	昭和56年	1.89	2248 い	外国からの導入樹種や古くからの古 来品種の林分特性、または、立地適応 等の検定などを目的として設定された 検定林。	
	北異郷土見7号試植検定林	昭和41年	7.43	256 る		
	北異郷土見9号試植検定林	昭和42年	1.83	256 の		
	森 林 計 画 区 計	13箇所	56.65			
施 業 指 標 林	網走中部森林管理署					
	育成天然林施業指標林	平成 3年	7.50	1110 わ	風害跡地に発生した中小径木の針葉 樹二次林を択伐林型へ誘導する施業の 指標とする。	
		平成14年	12.53	1111 る	育生天然林施業(漸伐型-単木伐採 タイプ 4.67ha)の指標とする。 育生天然林施業(漸伐型-帯状伐採 タイプ 2.98ha)の指標とする。	
	針葉樹二次林施業指標林	昭和54年	1.00	1110 り	風害跡地に発生した針葉樹二次林の 類型化を図り、成長量を増大させる適 切な施業方法を把握する。	
		昭和57年	1.00	1111 よ	風害跡地に発生した針葉樹二次林 (過密複層林分)を択伐林型へ誘導す る。	
		昭和58年	1.02	1111 た	風害跡地に発生した針葉樹二次林 (群-疎開林分)を択伐林型へ誘導す る。	
		昭和58年	0.20	1111 れ		
		昭和58年	0.20	1111 そ	風害跡地に発生した針葉樹二次林 (過密単層林分)を二段林へ誘導する。	
		昭和58年	0.12	1111 つ	風害跡地に発生した針葉樹二次林 (過密単層林分)を帯状伐採により二段 林へ誘導する。	
		昭和58年	0.20	1111 ね	風害跡地に発生した針葉樹二次林 (過密単層林分)を二段林へ誘導する。	
		昭和59年	0.20	1111 な	風害跡地に発生した針葉樹二次林 (過密単層林分)を無施業による対照区 とする。	
	平成10年	7.83	1118 へ	複数の伐採率の単木択伐によって針 広混交林分の増進・健全化を図り、材 積価値成長の増大を図る施業方法の確 立を目的とする。		
	天然林施業指標林	平成 7年	2.75	1117 ほ	単木択伐Ⅱ型によって針広混交林分 の増進・健全化を図り、材積価値成長 の増大を図る施業方法の確立を目的と する。	
		平成 8年	3.17	1118 ほ		
	育成複層林施業指標林	平成15年	5.65	1114 い	育生複層林施業(トドマツ天然林-ア カエゾマツ)の間伐の指標とする。	
	網走南部森林管理署					
	択伐施業指標林	昭和61年	8.96	1219 へ	択伐施業(ヘリコプター集材)の方法を 理解してもらうとともに、その後の森林 の推移を観察する。	
	森 林 計 画 区 計	15箇所	52.33			
	展 示 林	網走南部森林管理署				
間伐推進		平成 3年	5.11	262 に	見本となるカラマツの優良人工林とし て展示する。	
森 林 計 画 区 計	1箇所	5.11				

種類	名 称	設定年	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	備 考
試 験 地	網走中部森林管理署				
	エゾマツ・トドマツ天然生林 固定標準地	昭和33年	2.60	1041 は	成長量の推定及び予測方法に関する資料の収集。
	佐呂間トドマツ産地試験地	昭和42年	4.53	2090 む	トドマツ産地試験。
	常元トドマツ人工林収穫試験地	昭和38年	1.11	23 よ	所属施業団の現行あるいは将来予想される施業方法によって施業した場合の成長量、収穫量及びその他の統計資料を収集するとともに林分構造の推移を解明する。
	秋田カラマツ人工林収穫試験地	昭和42年	0.88	133 む	
	上金華カラマツ人工林 収穫試験地	昭和41年	1.10	1009 と	
	天然林施業試験地	昭和60年	1.00	1097 る	林分の健全化を図り、材積、価値成長増大を図る施業方法を確立する。
	網走南部森林管理署				
	津別天然林成長量固定試験地	平成15年	2.64	2205 ろ	トドマツ・エゾマツ天然林の生長予測。
	古梅トドマツ人工林収穫試験地	昭和37年	0.84	49 め	所属施業団の現行あるいは将来予想される施業方法によって施業した場合の成長量、収穫量及びその他の統計資料を収集するとともに林分構造の推移を解明する。
東藻琴カラマツ人工林 収穫試験地	昭和40年	1.10	258 れ		
美幌アカエゾマツ人工林 収穫試験地	平成10年	1.08	11 や		
森 林 計 画 区 計		10箇所	16.88		
モ デ ル 林	網走南部森林管理署				
	水土保全モデル林	平成12年	39.36	50 に	水土保全林における長伐期施業(間伐)をわかりやすく示す場として設定。
森 林 計 画 区 計		1箇所	39.36		
母 樹 林	網走中部森林管理署				
	勝山アカエゾマツ (育種母樹林)	昭和47年	1.41	96 イ	林業種苗法に基づく育種又は普通母樹林
	勝山ニホンカラマツ (育種母樹林)	昭和35年	4.17	96 ロ	
	岐阜トドマツ (育種母樹林)	昭和36年	2.11	2298 ロ	
			1.19	2298 ハ	
			5.96	2298 ニ	
	計		9.26		
	網走南部森林管理署				
	明治トドマツ (育種母樹林)	昭和41年	9.82	113 イ	林業種苗法に基づく育種又は普通母樹林
	明治アカエゾマツ (育種母樹林)	昭和43年		113 イ	
相生アカエゾマツ (育種母樹林)	昭和40年	2.34	2177 イ		
森 林 計 画 区 計		6箇所	27.00		
森 林 計 画 区 合 計		63箇所	257.97		

種類	名 称	設定年	設定延長 (m)	位 置 (林班)	備 考
溪 ブ ロ ジ エ 保 ク ト 全 林	網走南部森林管理署				
	モデル溪畔林流域 (恩根沢)	平成27年	9,600	2120, 2124~2129	上流域に位置する保護林等を核とした原生的な天然林から下流までの森林の連続性を確保することにより、よりきめ細やかな森林生態系ネットワークの形成に努めるため、検証を行いつつ取組を推進する森林である。
	森 林 計 画 区 計	1箇所	9,600		

注) 設定延長はモデル河川の流路の延長である。

(2) フィールドの提供

対 象 地 (林 小 班)	設 定 の 目 的	備 考
網走中部森林管理署		
2286 の 2288 う1	ふれあいの森 (オホーツクふれあいの森)	協定面積：1.94ha 北見地方木材協会
2249 は、と、か、た、れ そ、つ、む、や 2250 い、に 2252 ろ、は、ほ、と、ち り、よ、た、な	多様な活動の森	協定面積88.90ha 仁頃山愛好会
2217 い 2218 い	遊々の森	協定面積：0.69ha NPO法人自然体験村 虫夢(M-M)とこ昆虫の家
網走南部森林管理署		
101 と、り、よ、く、チ	ふれあいの森 (網走ねいちゃあいんふおめいしよんの森)	協定面積：44.09ha 網走ねいちゃあいんふおめいしよん
117 た1	ふれあいの森 (オホーツクふれあいの森)	協定面積：1.81ha 北見地方木材協会
356 お1	ふれあいの森	協定面積：3.72ha 小清水町長
1224 い、ろ、は、て イ、ハ 1226 は、に、ほ、と、ち ロ、ハ、ホ、ヘ、ト	遊々の森 (アッカムイの森)	協定面積：37.28ha NPO法人知床自然学校
森 林 計 画 区 計		協定面積：178.43ha

(3) 森林共同施業団地

名 称	対 象 地 (林 小 班)	面 積 (ha)	連 携 し た 施 業 の 内 容	備 考
網走中部森林管理署				
置戸地域森林共同施業団地	民	54、79~84林班	796.13	国有林と町有林の路 網の共有
	国	5~7、9、130~133林班	1794.96	
森 林 計 画 区 計	民		796.13	1箇所
	国		1,794.96	
	計		2,591.09	